

コース番号5



江ノ電に揺られて 伝説の稲村ヶ崎と長谷寺を巡る 4km 近い3km 台

集合：JR 鎌倉駅西口（江ノ電のりかえ口へ入らないでください） 8時45分集合 8時55分 出発

コース：鎌倉駅→江ノ島電鉄鎌倉駅（9:06発の江ノ電に乗車）→稲村ヶ崎駅→①稲村ヶ崎公園（日本の歴史公園100選 江ノ島の向こうに富士山が見えます）おやつ →稲村ヶ崎駅→（江ノ電）→長谷駅→②長谷寺（拝観料400円）→長谷駅→（江ノ電）→鎌倉駅→小町通り→③若宮大路・段葛→④鶴岡八幡宮→流鏑馬馬場の西の端「西の鳥居」ゴール ※江ノ島電鉄乗車料金 計620円

見どころ	写真
<p>①稲村ヶ崎公園（日本の歴史公園100選）</p> <p>海に突き出た岬に分けられた、鎌倉の町側の浜は由比ヶ浜。反対に江ノ島側（写真手前）の浜は七里ヶ浜と呼ばれています。稲村ヶ崎は、新田義貞の伝説であまりに有名です。1333年の鎌倉攻めの時、「切通し」でこずった新田義貞はいよいよ5月22日に総攻撃をはじめます。その折、黄金の太刀を海に投じて竜神に祈りました。すると海が二十余町も干し上がったと「太平記」には記されています。まあ、いずれにしても、新田義貞軍の兵士たちは山国育ち。海に干潮があることなど知らないとしたら、それは驚いたことでしょう。1333年5月22日ついに鎌倉幕府討伐。</p>	
<p>江ノ島の向こうに富士山が見えます</p> <p>江ノ電で鎌倉駅から5駅目の稲村ヶ崎駅。駅から約10分、ここから見る江ノ島と富士山は最高の癒しになるでしょう。ゆっくりおやつなど召し上がれ！ ※写真は稲村ヶ崎でくつろぐFSGTの皆さん 2014年5月来日時撮影。</p>	
<p>ボート遭難の碑</p> <p>1910年（明治43年1月23日）七里ヶ浜沖で逗子開成中学のボートが転覆し、前途有望な生徒12名が亡くなりました。この悲劇的な最後は当時世間を騒がせましたが、水底に沈んでいた少年達は共に友をかばいあい兄は弟を小脇にしっかりと抱きかかえたままの姿で収容され、さらに人々の心を打ちました。</p>	<div data-bbox="708 1070 1158 1290" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">『真白き富士の嶺』 真白き富士の嶺 緑の江の島 仰ぎ見るも 今は涙 歸らぬ十二の雄々しきみたまに 捧げまつる 胸と心</p> </div> 
<p>②長谷寺</p> <p>坂東33観音霊場の第4番札所として庶民の信仰を集めてきました。本尊の十一面観世音菩薩像は『長谷観音』の名で親しまれ、木彫仏としては日本最大級（高さ9.18m）です。深い観音山の裾野から中腹に広がる境内は、四季を通じて花が絶えることのない「鎌倉の西方極楽浄土」と呼ばれ、花木の彩りが心を和ませます。特にアジサイの季節は大勢の観光客でにぎわいます。海はすぐそこ！海光山という山号もうなずけます。光いっぱい境内で、海を眺めながらしばしお休みください。</p>	
<p>③若宮大路・段葛</p> <p>「若宮大路」は、源頼朝が妻・北条政子の安産を祈願して造った参道。由比ヶ浜方面から鶴岡八幡宮まで一直線に延び、その中央に土石を積んで一段高く造られた道が「段葛」。軍事上の策から遠近法を利用して造られ、目の錯覚により段葛が実際よりも長く、八幡宮が遠くに感じさせる効果は、徐々に道幅が狭くなることで実感できます。</p>	
<p>④鶴岡八幡宮</p> <p>鎌倉の中心地に源氏の守り神として創建された神社。広大な敷地には「源氏池」「平家池」そこに架かる「太鼓橋」をはじめ、数多くの見どころがあります。特に静御前が舞を納めた舞殿や大石段上の本宮は、朱塗りに極彩色の装飾が青空と山の緑に映え非常に美しく、その堂々とした佇まいは「鎌倉の象徴」であったことを感じさせます。</p>	